



11月 保育所だより



令和元年 11 月号
北部保育所
Tel 0853-68-0106
090-5706-2898

11月の行事予定

- 1 日 (金) 坂浦町へ行こう
(佐香っ子デー) ★
- 3 日 (日) (祝) 文化の日
- 4 日 (月) 振替休日
- 5 日 (火) おあつまり会、身体測定
- 6 日 (水) 5 歳児交流保育
(於: わにぶち保育所)
- 〃 生活習慣作りチャレンジシート週
(~ 10 日)
- 7 日 (木) 保育所開放日
〃 ふじ組交流 (柿畑見学)
* 雨天時: 11 日に延期
〃 北部子育て応援倶楽部
- 8 日 (金) 巡回相談
〃 中部保育所 4、5 歳児来所
- 12 日 (火) だんだんクラブ (玉ねぎ苗植え)
- 13 日 (水) ひもおとし会、誕生会 ★
- 14 日 (木) すまいるデー😊
〃 お箸レッスン (2、3 歳児)
- 15 日 (金) さくら小学校との交流 (5 歳児)
「学習発表会リハーサル見学」
- 18 日 (月) 避難訓練 (平田消防署より来所) ★
- 19 日 (火) クッキング (ぎょうざ)
〃 北部子育て応援倶楽部
- 20 日 (水) 集金日
- 21 日 (木) お箸レッスン (4、5 歳児)
- 23 日 (土) (祝) 勤労感謝の日
- 26 日 (火) かもめまつりリハーサル
〃 さくら小学校就学時健診
- 29 日 (金) 弁当の日
〃 布団・外ズック持ち帰り
- 30 日 (土) かもめまつり、保育所開放日
だんだんクラブ



栗、むかご、柿など秋の実りを身近に感じながら過ごしています。
今年の運動会は保護者の皆様、地域の皆様にご協力をいただき、この保育所ならではの競技を盛り込むことができたように思います。その後も、しばらく運動会ごっこをして余韻を楽しんでいる子ども達でした。

このような行事を含め、日々を一緒に過ごす中で友達を思う気持ちがより強くなってきたと感じています。2 歳児から 5 歳児まで一緒に遊んでおり、転んでしまったりけがをしたりした友達にすぐに気づいて言葉をかける姿が見られます。また、1 歳児の中には、手洗いをなかなかしようとせずにいた子がやっと来た時に、「すごい」と拍手をして褒めてあげている子がいました。このような成長を嬉しく感じているところです。

今月は、風の冷たさや木の葉の色づきから秋の深まりを感じられると思います。子ども達の感じたことや気づいたことを丁寧に受け止め、表現する楽しさにつながるよう工夫していきたいと思っています。

保育目標 秋の自然物に触れて遊ぼう

コミセンや坂浦方面にどんぐり拾いに行ったり、落ち葉や草花などを使ってままごと遊びや制作を楽しんだりします。

表現遊びを楽しもう

音楽に合わせて体を動かしたり絵本を読んでもらいごっこ遊びで表現したりすることの楽しさが味わえるようにします。

生活目標 整理整頓をしよう

折り紙や制作物など、決まった場所にきちんとしまい、大切にしたり気持ちよく過ごせるようにしたりします。



山の斜面では
色々な発見が
あります。
(かもめ組)



焼き芋おいしい! (もも組)

ひもおとし おめでとうございます
かもめ組 やまおか とあさん
もも組 あおやま りくとさん
いなむら あいかさん



お知らせ

●坂浦町へ行こう(佐香っ子デー)について(1日)

かもめ組が坂浦郵便局まで散歩に行き、郵便についての話を聞いたり年賀状の買い物をしたりします。給食をお弁当に詰め、漁村センターで食べます。

●生活習慣チャレンジシートについて(6~10日)

しまね教育ウィークに合わせ『生活習慣づくりチャレンジシート』に取り組んでいただきます。ご家庭と一緒に生活リズムを整え、朝食をしっかりと食べて登所し、風邪等に負けない丈夫な体作りを心がけていきましょう。

●さくら小学校との交流について(15日)

中部保育所の 5 歳児と一緒に、さくら小学校へ行き、学習発表会のリハーサルを見学します。

出雲市保育協議会主催「こんにちは保育園です」

主に在宅のお子さんを対象に楽しく遊んだり保育所の様子を知ってもらったりしています。

11 月 6 日 (水) 高松コミュニティセンター

11 月 22 日 (金) 朱鷺会館 両日共に 9:30~12:00

令和 2 年度の保育所入所受付が 11 月 21 日 (木) から開始されます。詳細は広報いずも 11 月号をご覧ください。(または保育所にお尋ねください。)

ご寄贈

ありがとうございました

栗 ~ 保護者様
柿 ~ 保護者様
むかご ~ 保護者様
菓子 ~ 地域の方
おもちゃ ~ 地域の方

職員出張のお知らせ

11、12 日 平田保育会視察研修 常松
12 日 同和教育研修 田中
16 日 虐待防止と対応講座 錦織
〃 灘分地区人権・同和教育研究
発表会 山側
17 日 ファミサポ子育て講演会 常松
21 日 スキルアップ研修 山側

子育てエール

子どもの「おそい・できない」が気になるとき

柴田愛子 学陽書房より抜粋

『あなたには、あなたの子どもが、大当たり!』

(前略) ぬくもりって、もっと日常的でささやかなことから感じ取るものではないでしょうか。それは、子どもに思いをかけて、「あなたが大切」という気持ちを子どもに伝えていくことです。お金を出してしまえばすむことにちょっぴり手を加えたり、簡単にすませられることに少しこだわって工夫するといったことから、その子を愛おしく思う気持ちが伝わるんだと思います。

「明日は遠足だから、新しい靴下を出しておくね」「パンツの後ろ前が分からなくなっちゃうから、前にシールを貼っておいたよ」といったちょっとした日常の心遣いが、慈しまれているという実感の積み重ねになっていくんじゃないでしょうか。

大切なのは、要所要所で子どもの気持ちをくみ取ること。すると、子どもの感性にピンと響き、うちのお母さんならではの思いを受けとめる、触れ合いができるのだと思います。

眠る前のひととき、子どもをぎゅっと抱きしめることから、始めてみませんか。子どもはみんな、お母さんが大好き。そしてまた一日、ほかの誰でもないあなたのお子さんと、あなた自身の家族の物語が、続いていくんです。

親は子を、子は親を、意識して選んだわけではありません。ただ、親子は運命に導かれて出会ったのです。そしていつの日か、まるでお互いを選んだかのように思えるときがやってきます。そう、「うちの子でよかった」「うちの親でよかった」と思える日が。

あなたには、あなたの子どもが大当たり、なのです!

